

開催日時	平成25年11月28日（木）午後7時30分～午後9時		
会場	白岩新町公民館	出席者数	13人
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）			
<p>① 公民館トイレ改修工事にあたり市の補助金をいただいたことに感謝したい。公民館は築25年で老朽化しており様々な課題がある。加えて、駐車場整備も課題となっているので、その際は、また補助金をお願いしたい。</p> <p>→ 公民館の補助金については、1公民館で1回限りということではないので、必要に応じて申請し、活用していただきたい。</p> <p>② 町会内の各世帯の情報について、世帯主名程度しかわからない。要支援者については民生委員から、子どもについては育成会から聞くことができるが、町会長としてすべての構成員を把握しておかないと災害発生時の緊急事態に対応できない。情報をいただくことはできないか。</p> <p>→ 個人情報については、取扱に関する難しさがある。災害等の場合は確かに情報が必要であり、市でも緊急の際に支援が必要な方々を把握し、民生委員にも把握いただいている。しかし、すべての方の情報を把握するには、町内会で話をして、それぞれにご理解をいただく手立てが必要となる。市としても頭の痛いところであるが、相談にはのらせてもらう。</p> <p>③ 子安観音の樹木が松枯れしている。奉納相撲で子どもたちが集まる際に倒壊する恐れもあり伐採したいが、補助金等の対応をいただけないか。</p> <p>→ 子安観音の樹木伐採については、直接的に、市が神社の樹木伐採を行うことはできないが、子どもの奉納相撲のためにということで支援できる場合等もあるので、相談していただきたい。</p> <p>④ 発電所カーブ付近でN T Tが電柱更新の工事をした際に、岩が落ちて水路がふさがった。人力での撤去は難しいので、市で対応していただけないか。</p> <p>→ N T Tの電柱工事に関する件については、現場の状況を見せていただく。</p> <p>⑤ 7月の豪雨に伴うガケ崩れ2か所（種蒔ザクラ付近、小林氏宅付近）の復旧工事はいつになるのか。</p>			

→ かけ崩れの復旧工事については、我々の方で確認させていただきたい。県の入札で、技術者の不足により不調となっている例もあると聞いており、もう少し時間がかかるのではないか。

**⑥ 電車道に埋設されている村山広域水道の水道管はかなり老朽化していると思われるので、危険がないか確認をお願いしたい。**

→ 村山広域水道の水道管については、検討する会議等もあるので、その点についても聞いておきたい。

ご質問の電車道に埋設されている村山広域水道の水道管について、山形県企業局村山電気水道事務所に問い合わせたところ、水道管は、昭和55年に埋設された口径1650mmの鋼管で、村山広域水道では、毎月道路を目視により点検を行っているとのことでした。

当該地区は、地盤もよく、埋設されている水道管は耐震適合性のあるもので、「危険はない。」とのことでした。

**⑦ 臥龍橋や種蒔ザクラ、発電所など、白岩にも観光資源がたくさんある。慈恩寺の取組と併せて種蒔ザクラもぜひPRして欲しい。また、種蒔ザクラを見に来る人のための駐車場の整備についてもお願いしたい。**

→ 種蒔ザクラや臥龍橋、発電所などは、地域だけでなく、市として歴史的、文化的に貴重な資源である。慈恩寺ばかりでなく白岩もたいへん歴史のある所として認識している。来年度になると思うが、とりあえず種蒔ザクラの駐車場については、がんばらせてもらう。

種蒔ザクラは県指定天然記念物に指定されており、桜の開花期には市内外から多くの花見客が訪れる本市の桜の名所の一つであると考えております。

本市の観光地を案内する観光パンフレット「さがえナビガイド」に、周辺エリアの臥龍橋などと共に掲載し、市のホームページでは桜の開花状況をお知らせし、市観光協会ホームページにおいても紹介をしているところであります。また、種蒔ザクラへの誘導案内についても、幟旗の制作や、開花期間中の国道112号線への誘導案内看板の設置等、支援を行っているところであります。

ご質問の駐車場については、昨年度から、市において土地所有者の御了解をいただきながら隣接する空き地をお借りし、本年度は4月15日から5月2日までの桜の開花期間中約10台分のスペースを確保し、対応を行ってきたところであります。

専用駐車場の整備となりますと、候補地や土地の提供者、整備主体等など整理しなければならない課題もありますので、地域の皆様の御意見もお聞き

しながら、まずは、地元新町「さくらの会」による種蒔ザクラを核としたまちづくりを推進していただき、今後検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解くださるようよろしくお願いいたします。

- ⑧ 種蒔ザクラについては、前回の地域座談会で要望したところ、今年度から「地域いきいき元気づくり事業」の補助金を得て、種蒔ザクラのライトアップや世代間交流など、充実した内容で、事業を実施することができ感謝している。次年度以降も継続できるよう、市の担当職員と相談していきたい。

→ 「地域いきいき元気づくり事業」については、地元の負担もあるが、ぜひ今後とも活用いただき、地元の活性化に役立てていただきたい。先ほどの奉納相撲の件なども、この事業を生かせるのではないか。種蒔ザクラは貴重な市の文化財であり、環境整備にがんばらせていただきたい。

- ⑨ 新町「さくらの会」は平成14年に発足し、種蒔ザクラを核としたまちづくりを行なっている。今年、市さくらんぼ観光課からピンクの幟旗を作ってもらったので、訪れる人も増えている。そこで課題となるのは駐車場であり、重ねてお願いしたい。

→ 駐車場については先ほど申しあげたとおり整備していきたいが、候補となる場所はあるのか。(町会長から「空き家となる所がある」という発言あり。)今後、場所も含めて検討させていただく。

- ⑩ 独居老人が施設に入る等、住居が空き家になった時の管理はどうなるのか。通学路に倒壊の恐れがある空き家がある場合等は、市が取り壊すことはできないか。

→ 空き家の適正管理については、3月に条例化したところだが、基本的には個人の財産であるため、行政としては、まず所有者を探したり、お願いしたりしていくことが基本的な姿勢となる。その上で、持ち主不明、かつ倒壊の危険がある等の場合には、最終的には行政が対応できる条例になっているが、そこまでのケースはこれまでにはない。

個別、具体的話があれば、建設管理課に、ご相談いただきたい。

- ⑪ 市では世帯のすべての情報がわかるわけだが、町内会長等に教えてもらうわけにはいかないのか。

→ 個人情報保護の観点から対象者の了解がないと提供できない。例えば、市では、災害時等に支援が必要な方をリストアップし、民生委員に情報提供しているが、同意を得た方しか提供できないため、900人にとどまっている。

いざという時に困らないような情報が必要であるという認識は、共通の認識であると思うが、現状では、町内会独自で各戸に同意を得ながら情報収集いただくといった方法でお考えいただくしかない。

**⑫ この公民館は2階が大広間になっており、足腰の悪いお年寄りが使いにくい。公民館を改修し、1階の部屋を広げることも頭に入れていただきたい。**

→ 市内には61の公民館分館があるが、大広間が2階という所もかなりある。新しい所では、1階が広く、椅子席になっている所も見られるようである。バリアフリーの観点等、時代の要請を視野に入れながら、改修のための補助についても検討していかなければならないと考えている。